

社会福祉法人塩釜市社会福祉協議会
令和元年度第3回小規模多機能型居宅介護松ぼっくり運営推進会議
議事録

1. 日 時 令和元年9月27日（金曜日）
開会 午後6時～ 閉会 午後6時43分

2. 場 所 小規模多機能型居宅介護松ぼっくり

3. 出席者 三上長治 永野やすえ 中村成子
(委員総数5名中3名出席)

松ぼっくり
早坂所長 鈴木介護職員

社会福祉協議会
曾根課長

欠席者 櫻井實 畑中敬一

1.開 会

2.あいさつ

3.協 議 (要旨)

①利用者動向 (早坂所長)

- ・ 現在 22名登録。女性 17名、男性 5名。
- ・ 要支援 1 2名 要支援 2 0名 要介護 1 6名
要介護 2 3名 要介護 3 6名 要介護 4 2名
要介護 5 3名 平均介護度 2.65
- ・ 問い合わせ・相談・見学は 1件、坂総合病院医療相談室より。
- ・ 職員 1名退職後、新規採用が難しく、新規利用者の受け入れ体制が整っているとは言えない。
- ・ 9/6、男性利用者が自宅玄関で意識消失し、市立病院へ救急搬送。検査の結果、肝潰瘍破裂で入院となり治療中。家族での介護が難しくなっていたので、やまと塩釜への入所を希望している。認知症が強

く、介護抵抗や体調不良もあって、在宅への復帰は難しい。

- ・ 9/19、女性利用者が自宅で喘鳴があり坂総合病院の救急外来を受診。肺に水が溜まっており、入院となる。4～6月の入退院後、食事も満足に摂れず、褥瘡もあった。
- ・ 5月下旬に緑ヶ丘病院へ医療入院していた方、9月上旬に仙台の施設へ入所となった。
- ・ 92歳の女性利用者がこころの樹へ入所予定。約2年間の利用だった。独居だったので、仙台在住の次女が週1回入浴をさせに通っていたが、腰痛となり、松ぼっくり利用につながった。夏場でも家を閉め切っており、熱中症が心配だった。配食サービスも利用していたが、食べにくいようで、松ぼっくりでゼリーなどを購入し提供していた。
- ・ 要介護4の女性の方、朝から奇声をあげるなど対応に苦慮していた。かかりつけ医に相談し、来月、みはるの杜を受診することになった。これまで家族が勝手に薬を止めるなどの行為があり、状態が良くなかった。自宅で食事が摂れていたのかも疑問だった。入浴時は職員3人で更衣をさせていた。受診後、家族や包括センターと連携を図り、今後の対応を検討する予定。

②行事・今後の予定（加藤主任）

- ・ 利用者誕生会、9月2名、10月3名。
- ・ 9/16、高齢者まつりに利用者3名が参加。ものまねショーを観覧。
- ・ 10/3、北浜保育園園児との世代間交流を企画。園児15名が参加予定。
- ・ 10/12、さかえ保育園の運動会へ参加。
- ・ 10/21～、秋の外出行事として海鮮せんべい塩釜を訪問予定。

③その他

- ・ 昼食ボランティア1名が加療のため休む。他の3名でなんとか回すことになった。

(三上委員)

報告を聞くと、だいぶ高齢者が多いようだ。

(早坂所長)

利用者の平均年齢は85歳になっている。一番上が95歳、下が74歳。

(三上委員)

この前、研修があり、塩釜市の高齢者人口は3人に1人と聞いた。急に

高齢化が進んだと感じた。100歳以上も30名ちょっといるようだ。自分で食事をできるくらいの100歳ならいいが、全てがそうではないはず。28名が女性とのことで、家事で動いていた分、健康が続くのかもわからない。

(永野委員)

100歳になる義母は何もしない人だった。義父が食事の用意をしていたが、早死だった。気が強く、自分自身を貫く人は長生きすると思う。

(曾根課長)

自分が見る限り、食欲のある方は長生きするように感じる。

(永野委員)

それはある。

(三上委員)

食べる分、力になる。当然だ。

(永野委員)

義母は、おかず5品に納豆。敬老の日の祝いにお寿司を出前したら、納豆を乗せて食べていた。止めろといっても耳を貸さない。食べる人は長生き。水分もよく摂っている。誤嚥が心配なのに自室で自分のペースで食べることを好んでいる。

(早坂所長)

その逆もあり、皆一緒だとよく食べる方もいる。

(永野委員)

それが普通。出した物は全部食べるが、漬物を出すとそれをデイサービスに持って行き、隣の利用者にご馳走してしまう。何度注意してもダメ。

(三上委員)

分け与える、それが人間だ。

(早坂所長)

松ぼっくりでもよくある。入浴時にだいたい気づいて、そっにご自宅へ返却する。

(永野委員)

もうひとつ困っているのが、ショートステイの送迎車運転手にチップを渡すこと。返せとも言えない。また、職員へも物を持っていき、媚びた

がる。「いつもお世話になりありがとうございます」と手紙まで付ける。
100歳になり癌にもなった。手術の方向で進めている。

(永野委員)

町内の方が元々元気だったのにバスの中で転倒、介護用ベッドが必要となり包括センターに相談して借りられることになった。そういうケースが増えている。

(三上委員)

この団地も一気に増えた印象。長寿祝いのタオル配布も400名超だった。約500世帯があり、4人暮らしとすれば2,000名がいる。今が高齢者率のピークかもしれない。

(永野委員)

民生委員2名とも退任時期が近い。後任を探しているが、若い人がいない。

(三上委員)

企業の定年が65歳になっている。退職してから民生委員となれば、10年しかできない。自営業の方でもいいが、この地域には少ない。

(中村委員)

行事がたくさん予定されているようだ。外出行事は天気の良い方がいい。

(三上委員)

海鮮せんべい塩釜に行ったことがある。自分の顔を描いた絵がたくさん貼ってある。

(早坂所長)

一昨年は、塗り絵を描いて持参するとお土産がもらえた。

(永野委員)

そういうものを利用者はできるのか？

(鈴木介護職員)

利用者は喜んで一生懸命描いている。前回訪問した時は、せんべいの試食も食べるし、お茶も飲んで楽しんでいた。

(三上委員)

結構、高齢者施設の方々が来ていた。

(鈴木介護職員)

駐車場も広くて停めやすい。

(中村委員)

毎年行き先が変わるのか？

(早坂所長)

去年は、魚市場おさかなミュージアムを訪問した。

(曾根課長)

私共は保育園も運営しているので、よく世代間交流をしている。

(早坂所長)

敬老の日に合わせた交流やクリスマスの交流も図っている。利用者は喜び、いつもとは違った表情を見せる。すぐに忘れるが、心には残っていると思う。

(曾根課長)

本日、こころの樹や北浜デイサービス等に敬老祝いで園児たちが来た。プレゼントとして手作りのペンダントを渡した。自分ももらった。来月の末にはハロウィン交流会があり、仮装した園児が毎年来ている。

(永野委員)

今年の高齢者まつりは面白かったと評判が良かった。

次回 11月28日(木) 18:00～